

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                          |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 行 事 名   | 仕事についての講話                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 分類・時数                                                                                                                                                                                                                                                                                          | キャリア教育（総合的な学習の時間）<br>50分 |
| 期 日     | 平成27年6月17日（水）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 場 所                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 体育館他                     |
| 担 当 者   | キャリア教育担当（松下・松浦）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 参 加 者                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 7・8・9年生生徒、7・8・9年職員       |
| 時 間 帯   | 5校時（14：10～15：00）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 経 費 等                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                          |
| 目 的     | ○ 働くことの意義など、ゲストティーチャーの体験に基づく講話に直に触れ、感じることで中学生としての望ましい勤労観、職業観を身につける。（気力）<br>○ 生徒の職業に対する関心を高め、職場体験学習の前段階の意識付けを行う。（気力）                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                          |
|         | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 留 意 事 項                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                          |
| 事前指導    | ○ 講話を聴く事業所のグループ分けを、学級担任を中心に行う。<br>○ 事前学習の中で、大まかな質問事項を考えておく。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ○ <u>学級担任は、事業所を選択させる。その際、人数がおおよそ均等になるようにさせる。</u><br>○ 講師の依頼はキャリア教育担当が行う。<br>○ あいさつ等の作法指導をしておく。                                                                                                                                                                                                 |                          |
| 実 施 計 画 | 1 移動（14：10～14：15）<br>2 講師紹介を聞く。（14：15～14：20）<br>※各教室担当4名による紹介<br>3 講話を聞く。（14：20～14：45）<br>一事業所25分<br>① 農業（赤木 紀男さん）<br>② ハム製造業（若松 英俊さん）<br>③ 物作り（河野 成幸さん）<br>④ 環境関係（牛堂 保男さん）<br>4 質疑応答（14：45～14：55）<br>① 赤木 紀男さん（和室）<br>② <u>若松 英俊さん（ひまわりホール）</u><br>③ <u>河野 成幸さん（体育館）</u><br>④ 牛堂 保男さん（少人数教室）<br>5 お礼の言葉（14：55～15：00）<br>① 赤木 紀男さん（ ）<br>② 若松 英俊さん（ ）<br>③ 河野 成幸さん（ ）<br>④ 牛堂 保男さん（ ） | ○ <u>会場案内の生徒を1名選出しておく。</u><br><u>（会場案内の生徒は、14：10に校長室へ）</u><br>○ 講師紹介は、各教室で行う。<br><br>○ 講話内容<br>仕事の内容・働く喜びと苦労・夢に向かって前進する児童へのアドバイス<br>○ 各事業所の講話をしっかりとした態度で聞くことができるように指導する。<br>○ 時間の都合上、準備でき次第、質疑応答を行う。お礼の言葉を5分設定しているが、15:00にすべて終了できるように、進行が工夫してもよい。<br><br>○ 事業所を選択した生徒の中から、お礼の言葉の代表を決め、指導をしておく。 |                          |
| 事後指導    | ○ 学級にてお礼状を書かせる。<br>○ 各自で「働くこと」について分かったことや考えたことをまとめる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ○ お礼状には、学んだことをどのように職場体験に生かしていくかも書かせる。                                                                                                                                                                                                                                                          |                          |
| 備 考     | ○ 実施後2週間以内にお礼状を発送する。お礼状の発送はキャリア教育担当が行う。<br>○ まとめた感想（レポート・新聞等）は掲示する。<br>○ 講師接待及び案内 松浦<br>○ 講師紹介 吉村、佐藤、富山、藤本<br>○ 質疑応答時の進行 吉村、佐藤、富山、藤本                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                          |
|         | ○ お礼の言葉指導 梶原、細山田、甲斐<br>○ 会場巡回 梶原、細山田、甲斐、近藤<br>○ 資料等 松浦                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                          |





「仕事についての講話」を終えて 講師：( 赤木紀男 ) 様

日向市立平岩小中学校 ( 9 ) 年 名前 ( )

私は今日の講話を聞いて、赤木さんが50年間農業  
をされている上での経験など、仕事を する上での大切なこ  
とを話していただきたくさん学びことができました。

また、仕事のこと以外でも生きていくことでも話をしていた  
いただき勉強になりました。

私は今日おうかがいしたことを職場体験でも生かして、  
少しでも働くことについて学べるように頑張りたいです。

それから、赤木さんが最後におっしゃっていましたか、高  
校の時、記者に選りたかったけど、親の後をついて、  
農業の仕事を選んで、記者の夢はあきらめたけど、  
農業をやっていると「良かった」、「正解」だったとおっしゃっ  
いたので、私も自分の選んだ道を良かったと思えるよ  
うに生きていきたいです。

今日は本当に勉強になりました。

「仕事についての講話」を終えて 講師：(若松 英俊) 様

日向市立平岩小中学校 ( 9 ) 年 名前 ( )

今日は、本当においそがしい中わざわざ  
お話しいただきありがとうございます。  
若松さんの講話をきいて、今まで知らなかった  
ことがいろいろ知れたので、いい思い出になり  
ました。

あと、若松さんは、毎日、新聞を読んで、気になった  
ことを切り取ってノートにはったり、5行日誌をかいたり  
しているそうです。しかも、それを中学生の頃から、  
ずっと続けているということがすごいと思います。  
私だったら、2日ぐらいですぐ  
やめていると思います。

そして、若松さんは、1年間ドイツにいた  
ということもすごいと思いました。

私は、英語もいえないし、書けないので、  
たぶん、外国に住んだり、行ったりすることは、  
無理だと思います。

今日は、本当に講話をしていただき、ありがとう  
ございました。これからも元気でがんばってくださいね。

「仕事についての講話」を終えて 講師：(牛堂 ) 様

日向市立平岩小中学校 ( 7 ) 年 名前 ( )

私が牛堂さんの仕事の話を聞いておどろいたことがあります。一つ目は、いつも四時ぐらいに起きて五時にお倉ヶ浜を散歩しながらゴミ拾いをしているということです。

二つ目は、アカガメの赤ちゃんなどを死なせないようにバケツに入れて運んであげたりしていたところです。

私は、同感したところもありました。それは、森林はかいはよくないと思いました。森林がなくなると道路などができたら人間は楽かもしれないでも、ほかの動物たちは同じ生き物なのに居場所がなくなり絶滅してしまうということです。

私は、一回でもいいので動物たちの役に立つようなことをしてみたいと思いました。それは今動物たちは少しずつめつていて将来にはもう動物はいないかもしれないからです。

私は今日の講話を通して、二つバに決めました。

一つは、動物も生き物なので大事にすること。

二つ目は、森林などをはかいつしないようにするために、ゴミ拾いなどをすること。

今日の講話でとても知ったことが多かったのも、いい勉強になったので良かったです。